

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

・通学課程（学部）

明星大学	<p>【課題発見・解決】 （実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力）</p> <p>1. 実践的かつ体験的な学びを通じて知識・技能を能動的に修得して、多様な実践の場で自ら課題を発見し、それを解決することができる。</p> <p>【思考・判断】 （グローバルな思考に基づく社会貢献）</p> <p>2. 国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れる創造的思考力及び判断力を修得して、地域社会の発展に寄与しながら、国際社会の発展にも貢献することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 （自己確立による社会貢献）</p> <p>3. 学生同士並びに教職員との人格接触を伴う学修を通じ、自己を律するとともに自己を確立し、自らの目標を明確に定め、社会に貢献することができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 （社会を支える幅広い教養）</p> <p>4. 多様な価値観を受け入れることができる自立した市民に相応しい幅広い教養を修め、社会的倫理に従って自己を律しながら、多様なコミュニケーションの方法を用いて、修得した教養を社会のために役立てられる。</p> <p>【技術・技能】 （社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）</p> <p>5. 国内外の社会に専門的技術・技能を以て貢献しうる証として種々の資格を取得している。あるいは、資格化されていないものの、社会に貢献しうる技術・技能、又は技術・技能の基礎を成す資質を修得している。</p>
1. 理工学部	<p>（1）物理学系</p> <p>【課題発見・解決】 （実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力）</p> <p>1. 実験・演習を通して物理学の基礎的な理解を深め、研究・開発・教育の現場で課題を発見し、解決することができる。</p> <p>【思考・判断】 （グローバルな思考に基づく社会貢献）</p> <p>2. 科学、物理学の視点を持って研究を遂行し、地球規模の問題解決に寄与すると同時に、修得した技術や知識をもって地域や社会に貢献することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 （自己確立による社会貢献）</p> <p>3. グループワークでの実験を通じ、他者と協働して問題解決に取り組むことができる。</p> <p>4. 技術者・研究者・教育者としての倫理観を備え、行動することができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 （社会を支える幅広い教養）</p> <p>5. 物理学を体系的に理解し、身近な現象と結びつけて考えることができる。</p> <p>6. 十分なコミュニケーション能力を有し、物理学の知識を他者に伝えることができる。</p> <p>【技術・技能】 （社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能）</p> <p>7. 多様な実践の場で求められる実験・調査・データ解析の技術を身に付けている。</p> <p>8. 数理的・論理的な思考能力を身に付けている。</p> <p>（2）生命科学・化学系</p> <p>【課題発見・解決】 （実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力）</p> <p>1. 卒業研究を通して客観的な視点から課題を発見し、解決に至る方法を論理的に考えることができる。</p> <p>【思考・判断】 （グローバルな思考に基づく社会貢献）</p> <p>2. 専門分野のみならず、関連分野にも積極的に関心を広げ、社会的要請に応えるための思考力を身に付けている。</p> <p>3. 大学教育を通して培った知識や技術を活かし、産業界への貢献に寄与することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p>

(自己確立による社会貢献)

4. グループワークを含めた講義、実験を通して、協調性及び課題解決に取り組む姿勢を身に付けている。

5. 研究者・教育者として、倫理的な行動を取ることができる。

【知識・理解・表現】

(社会を支える幅広い教養)

6. 専門科目での講義、実験から得た知識を基に、生命科学分野及び化学分野の基礎を理解している。

7. 分子生物学を中心とした生命科学及び化学を体系的に理解し、産業界のみならず、社会全般における両分野の重要性を認識している。

8. 論文や学会発表を通して学術成果を社会に発信し、還元できる能力を有している。

【技術・技能】

(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)

9. 文献調査及び技術情報の収集を通じて、実践的な技術や思考能力を身に付けている。

10. 講義やゼミナールを通して、英語による情報発信能力を身に付けている。

(3) 機械工学系

【課題発見・解決】

(実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力)

1. 機械工学分野の課題を探求し、その課題を分析し、技術的解決への道筋を見つけ、解決することができる。

【思考・判断】

(グローバルな思考に基づく社会貢献)

2. 関連する分野を理解し、判断・行動することができる。

【関心・意欲・態度】

(自己確立による社会貢献)

3. 工学的な問題に対して倫理観・責任感をもって誠実に対応することができる。

【知識・理解・表現】

(社会を支える幅広い教養)

4. 基礎となる物理学と数学を理解し、応用することができる。

5. 専門領域において、基礎的知識から最新技術までを理解し、製品設計などに適用できる能力を身に付けている。

6. プレゼンテーションで自らの考えを端的に発表・説明することができる。

7. 関連する研究分野の文章の読み書きや質問に対して、誠実に説明・議論することができる。

【技術・技能】

(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)

8. 要求に応える性能を有した機械設計を行うことができる。

9. 設計上の制約条件に基づいた計画を行い、時間的な制約も守ることができる。

(4) 電気電子工学系

【課題発見・解決】

(実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力)

1. 目標と現実の差異を客観視することで、課題を発見することができる。

2. 発見した課題を、従来の経験や既存の理論をそのまま適用するのではなく、自身の力で実際に一つ一つ解決することができる。

【思考・判断】

(グローバルな思考に基づく社会貢献)

3. 電気電子工学領域のみならず、さまざまな領域に関心を持ち、絶えず自己研鑽し、専門家としての姿勢を有している。

【関心・意欲・態度】

(自己確立による社会貢献)

4. 物事を論理的に分析し、迅速に問題解決に向けた判断を行うことができる。

5. 電気電子工学にとらわれない独創性や創造性に富む発想力を有している。

【知識・理解・表現】

(社会を支える幅広い教養)

6. 電気電子工学領域の基礎知識群とそれを基礎とした研究活動から生じる学術成果を獲得している。

7. 学術成果を社会に積極的に発信し、社会で生じている諸問題の解決に応用することができる。

8. 異文化を理解するための幅広い教養を身に付けている。

【技術・技能】

(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)

9. 設備・機器から得られた情報を有用化し、その中から規則性を論理的に分析し、必要な技術を生み出すことができる。

10. 日本語による論理的な発表・討議を行う技術を有し、外国語においても実現可能なコミュニケーション能力を有している。

(5) 環境科学系

【課題発見・解決】

(実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)

1. 環境問題における解決すべき具体的な課題を抽出・分析し、課題に関わる制約条件を考慮した解決策を計画的に立案することができる。

【思考・判断】

(グローバルな思考に基づく社会貢献)

2. 人間社会と環境の関わりについて、地球的視点に立って観察する知識と環境を保全する行動力を備え、地域及び国際社会に貢献することができる。

【関心・意欲・態度】

(自己確立による社会貢献)

3. 環境技術が社会の持続的発展の基本であることを認識している。

4. 技術者倫理に基づき行動し、将来にわたり技術者として活躍するため持続的に研鑽し、他者と協働することができる。

【知識・理解・表現】

(社会を支える幅広い教養)

5. 環境技術者に必要な基礎学力とその応用能力を有している。

6. 環境技術分野において必要な専門的知識とその応用能力を有している。

7. 環境技術分野の情報や意見を的確に理解し、他者に伝えることができる。

【技術・技能】

(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)

8. 環境技術を応用するにあたり必要なハードウェア・ソフトウェアを利用する能力を有している。

2. 人文学部

(1) 国際コミュニケーション学科

【課題発見・解決】

(実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)

1. 主体性と目的意識をもって情報を収集・分析し、課題を発見することができる。

2. 知識・技術・技能を総合的に活用し、主体的・積極的に課題解決に取り組むことができる。

【思考・判断】

(グローバルな思考に基づく社会貢献)

3. 様々な目的・場面に応じて、柔軟に思考・判断することができる。

4. 幅広く多様な視点に立ち、矛盾や問題点を明らかにする分析能力と、問題解決に主体的に取り組む実践力を有している。

【関心・意欲・態度】

(自己確立による社会貢献)

5. 他者と協調・協働するための円滑なコミュニケーションを図ることができる。

6. 遵法精神をもって、組織で問題解決を図ることができる。

【知識・理解・表現】

(社会を支える幅広い教養)

7. 異文化を理解し、言語・文化的な幅広い知見・教養を備えたコミュニケーション能力を身に付けている。

8. 組織や社会で必要となる文章の読解と作成ができる。

【技術・技能】

(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)

9. グローバル化した社会において、日本語、英語又は中国語の言語システムを理解し、活用できる。

(2) 人間社会学科

【課題発見・解決】

(実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)

1. 現実の社会的な問題を認識し、問題に対処することができる。

【思考・判断】

(グローバルな思考に基づく社会貢献)

2. 社会的現象を、広い視野から論理的に考察することができる。

【関心・意欲・態度】

(自己確立による社会貢献)

3. 自分の考えを明確にすることができる。

4. 多様な他者と協働して、問題解決にあたることができる。

5. 不断に自分の人生をデザインすることができる。

【知識・理解・表現】

(社会を支える幅広い教養)

6. 社会学の専門的知識を修得している。

7. 多様な他者の存在を理解することができる。

8. 自分の考えを他者に伝えることができる。

【技術・技能】

(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)

9. 社会調査の技法を理解し、活用することができる。
10. 社会的現象を、実証的に分析することができる。

(3) 日本文化学科

【課題発見・解決】

(実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)

1. 体験学習及び演習等での能動的な学修を通じ、伝統文化の保存や現代文化の活性化のための課題を見つけ、それを解決することができる。

【思考・判断】

(グローバルな思考に基づく社会貢献)

2. 日本の伝統文化の形成過程について正しく理解し、日本の伝統文化の多様性を具体的に述べるることができる。
3. 日本の代表的な作品や文章を自らの力で正確に読解できる。

【関心・意欲・態度】

(自己確立による社会貢献)

4. 日本の伝統文化とその多様性に興味を持ち、体験を通じて学ぶ姿勢を有している。
5. 日本の現代文化及びそれに影響を与えた外国文化に強い興味・関心を寄せることができる。

【知識・理解・表現】

(社会を支える幅広い教養)

6. 日本語のしくみについての基本的な知識を身に付けている。
7. 海外を含む多様な人とコミュニケーションがとれ、自分の理解や意見を正確に発信できる。

【技術・技能】

(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)

8. 日本の伝統文化における課題について説明することができる。
9. 外国文化との交流を踏まえて、日本の現代文化の課題について説明することができる。

(4) 福祉実践学科

【課題発見・解決】

(実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)

1. 多様な実践の場で自ら地域社会における福祉的課題を発見し、それを解決することができる。

【思考・判断】

(グローバルな思考に基づく社会貢献)

2. 社会福祉の視点をもとに、社会的倫理及び国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れる創造的思考力及び判断力を修得している。
3. 福祉社会人あるいは福祉職業人、市民として、誰もが住みやすい地域社会づくりに関するニーズの着眼力を修得している。

【関心・意欲・態度】

(自己確立による社会貢献)

4. 学生同士並びに教職員、当事者、福祉専門職、企業職員、地域住民との人格接触を伴う学修を通じ、自己を律すると共に自己を確立している。
5. 自らの目標を明確に定め、福祉社会人や福祉職業人、市民として社会に貢献することができる。

【知識・理解・表現】

(社会を支える幅広い教養)

6. 多様な価値観を受け入れることができる自立した市民に相応しい幅広い教養を修めている。
7. 体験的な学びを通じて、福祉分野の知識・技能を能動的に修得している。

【技術・技能】

(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)

8. 国内外の社会に貢献しうる、多様なコミュニケーション能力及び、ネットワーク形成や問題解決に関わる技術・技能を修得している。
9. 社会福祉士をはじめ、精神保健福祉士、スクールソーシャルワーカー等の福祉分野の資格取得に求められる基本的な技術・技能を身に付けている。

3. 経済学部

【課題発見・解決】

(実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)

1. 経済社会の諸問題に対して経済学的な視点で分析することができる。
2. 経済学に加えて法学・商学・会計学の知識とスキルを用いて、経済社会の諸問題に対する解決策を提案することができる。

【思考・判断】

(グローバルな思考に基づく社会貢献)

3. 地域の経済社会的な課題を解決するために必要な制度上の知識と実践的手法を身に付けている。
4. 経済社会の諸問題を世界的視野と歴史的視点で捉えることができる。

【関心・意欲・態度】

	<p>(自己確立による社会貢献)</p> <p>5. 所属する組織や社会における自らの役割と任務を認識し、主体的にこれらに貢献することができる。</p> <p>6. 議論などを始めとしたあらゆる場面において異なる意見を受け止め、理解することができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 (社会を支える幅広い教養)</p> <p>7. 経済学の基礎知識を修得している。</p> <p>8. 法学・商学・会計学の基礎知識及びビジネスの実践的な知識を修得している。</p> <p>9. 文書又は口頭により、自らの考えを論理的かつ正確に伝えることができる。</p> <p>【技術・技能】 (社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)</p> <p>10. 経済社会の動向を経済学に必要な数量的手法を用いて説明することができる。</p>
4. 情報学部	<p>【課題発見・解決】 (実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)</p> <p>1. 情報の柔軟な運用や分析、社会的技術的な課題への対応・対策等のスキルを有し、活用することができる。</p> <p>【思考・判断】 (グローバルな思考に基づく社会貢献)</p> <p>2. 社会や経済活動に関する周辺知識を有し、科学的思考により情報を多面的に捉えることができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 (自己確立による社会貢献)</p> <p>3. 多様な人間や考え方から成る文化や習慣、さらに自己を理解した上で、倫理観を持って能動的に行動・協調・協働することにより、情報を核とした社会の発展に貢献できる。</p> <p>【知識・理解・表現】 (社会を支える幅広い教養)</p> <p>4. 情報を扱う人間社会や、システムを構築し活用するための技術・制度・組織を理解している。</p> <p>【技術・技能】 (社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)</p> <p>5. 情報一般やコンピュータで処理される情報の原理を理解した上で、情報を扱う機械及び機構を設計し、実現するための技術を身に付けている。</p>
5. 教育学部	<p>【課題発見・解決】 (実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)</p> <p>1. 子どもや教育に関する状況の中から課題を発見し、関係者と協働しながら、課題の解決のための重点や手立てを探究し、計画を立て、実行し、評価し、更に改善を進めていくことができる。</p> <p>【思考・判断】 (グローバルな思考に基づく社会貢献)</p> <p>2. 人間や社会への深い洞察の下、子どもの資質・能力を豊かに発展させるため、学習指導・生徒指導・学級経営や保育などの在り方を創造的に考える力や、状況に応じて的確に判断する力を身に付けている。</p> <p>3. 学習指導・生徒指導・学級経営や保育などの在り方を論理的に説明し、協議することのできる表現力を身に付けている。</p> <p>【関心・意欲・態度】 (自己確立による社会貢献)</p> <p>4. 子どもや教育をめぐる状況に関心を持ち、教育や保育の充実改善に主体的、協働的に取り組むことができる。</p> <p>5. 子どものよりよい成長発達を支える役割を自覚し、進んで学び、識見を豊かにし、専門的、実践的な力量を高め続けることができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 (社会を支える幅広い教養)</p> <p>6. よりよい教育や保育を計画し展開するために必要な専門的な知識を理解している。</p> <p>7. 教育や保育の基盤となる人間や社会等についての幅広い教養を身に付けている。</p> <p>【技術・技能】 (社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)</p> <p>8. 学習指導・生徒指導・学級経営や保育などを効果的に進め、子どもの資質・能力を豊かに発展させるために必要な技術・技能を身に付けている。</p> <p>9. 教育や保育に必要な情報を適切に収集・選択し活用できる技術・技能を身に付けている。</p>
6. 経営学部	<p>【課題発見・解決】 (実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力)</p> <p>1. 経営学の知識を生かしながらも、硬直的な理論にとらわれず柔軟な行動をとることができる。</p>

	<p>【思考・判断】 (グローバルな思考に基づく社会貢献) 2. 経営学の知識を用いて論理的かつ柔軟に思考することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 (自己確立による社会貢献) 3. 世の中の動きに関心を持ち、地域社会の一員として貢献できる能力を身に付けている。 4. 社会人、企業人又は組織人として生涯自発的に学ぶ能力を身に付けている。 5. 人間関係と組織活動を重んじ、グループの一員として、同僚と協働して作業を行うことができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 (社会を支える幅広い教養) 6. 正しい経営活動における知識と技術を理解し、実践及び表現することができる。 7. 企業及びその他の組織体の社会的責任と統治能力を理解することができる。</p> <p>【技術・技能】 (社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能) 8. 科学的な調査・分析手法を用いて論理的に物事を理解することができる。 9. 身に付けた経営学の知識を生かし、企業活動に役立てることができる。</p>
7. デザイン学部	<p>【課題発見・解決】 (実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力) 分析力・発想力・統合力=企画力 1. 身の周りの生活や社会を調査・分析し、自ら課題を発見することができる。 2. 調査・分析をもとに様々なアイデアを発想することができる。 3. 課題を解決するためのアイデアを具体的かつ魅力的な企画にまとめることができる。</p> <p>【思考・判断】 (グローバルな思考に基づく社会貢献) デザイン思考・社会貢献 4. 様々な社会に最適な「ヒト・コト・モノ」の関係性を創造的に思考し、判断することができる。 5. 幅広い視野に立って判断し、社会の発展に貢献することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 (自己確立による社会貢献) 社会に対する関心・工夫する力 6. 社会に対して幅広い関心を持ち、社会貢献につながる自らの目標を明確に定めることができる。 7. 困難に対してあきらめず、工夫と努力を続けることができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 (社会を支える幅広い教養) デザインに関する知識・コミュニケーション力 8. デザインの活動に必要な幅広い知識と教養を有している。 9. デザインの活動に必要なコミュニケーションの意義と方法を理解している。</p> <p>【技術・技能】 (社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能) 美的構成力・プレゼンテーション力 10. 企画やアイデアを、資料や具体案として美的に構成することができる。 11. 企画やアイデアを明快にプレゼンテーションすることができる。</p>
8. 心理学部	<p>【課題発見・解決】 (実践躬行の体験教育を通した統合的学修による課題発見・解決力) 1. 実習で体験的に修得した方法論や技法を駆使して、独力で問題を発見し、その問題に対処できる。</p> <p>【思考・判断】 (グローバルな思考に基づく社会貢献) 2. 外国語文献の読解も含むグローバルな探究で得られた最新の知見を活用して、個人・集団・地域社会等の現実的な諸問題に対処できる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 (自己確立による社会貢献) 3. 科学的・実証的探究の成果としての卒業研究の完成に繋がる4年間の学びを通じて、自ら目標を見出し、その目標を達成するために自律的・計画的に行動することができる。</p> <p>【知識・理解・表現】 (社会を支える幅広い教養) 4. 心理学の学びから培われるバランスのとれた人間観に基づき、他者を理解し社会内存在として自己を相対化できる。 5. 科学的探究としての卒業研究を通じて、説明やプレゼンテーションによる相互理解を実現できる。</p> <p>【技術・技能】</p>

	<p>(社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)</p> <p>6. 心理学の学びを通じて培われた実践的教養としての論理的思考やコミュニケーションによって、社会の多様な場面での価値創造や相互理解構築に貢献できる。</p>
9. 建築学部	<p>【課題発見・解決】 (実践躬行の体験教育を通じた統合的学修による課題発見・解決力)</p> <p>1. 建築学の専門知識に基づき、都市や地域が抱える今日的課題を発見し、その解決案を提案できる。</p> <p>2. 建築学の専門知識を応用して、自ら課題を設定し実証的な手法を用いて研究論文の作成、又は社会的・客観的視点に立脚した建築設計を行うことができる。</p> <p>【思考・判断】 (グローバルな思考に基づく社会貢献)</p> <p>3. 自然科学分野に加え、社会科学・人文科学分野を含めた幅広い教養を用いて、建築を歴史・社会・人間と関連付けて思考することができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 (自己確立による社会貢献)</p> <p>4. 建築に携わる職業人としての社会的役割と責任について理解している。</p> <p>5. 他者との協働作業において、他者の立場や意見を尊重し、チームの成果に貢献することができるコミュニケーション能力を有している。</p> <p>【知識・理解・表現】 (社会を支える幅広い教養)</p> <p>6. 建築学に関する幅広い専門知識を身に付けている。</p> <p>7. 自らの成果物に関して、論理的かつ合理的に説明できるプレゼンテーション能力を有している</p> <p>【技術・技能】 (社会貢献に結びつく資格並びに特別な技術・技能)</p> <p>8. 建築における総合的(意匠、計画、環境、構造)な設計を行うことができる。</p>